



2021年10月
通巻071号

ことのほ

SSKP



特集

古橋 耕二郎 前理事長 を偲ぶ

——— これまでの感謝を込めて

こちらもぜひチェックしてください!

右のQRコードを読み取ると、法人ウェブサイトに移行します。<https://www.manyounosato.or.jp>



(紙面では、コロナ禍以前に撮影した写真や撮影時にマスクを一時的に外している写真等を掲載していますのでご了承ください。)

古橋耕二郎 前理事長

を偲ぶ



これまでの感謝を込めて



令和3年2月9日、古橋前理事長が逝去されました。

平成21年4月に万葉の里の常務理事兼事務長として就任して以来12年間、職務に努めてこられました。古橋前理事長は、利用者や職員との関わりを何よりも大切にしてくださいました。そして、障害のある方が地域の中で安心して暮らせるよう、内外との交流を重ね、地域の一員として地域に根差した施設づくりを目指してきました。

これからも、古橋前理事長の歩みを引き継ぎ、長年、まちづくりに取り組んできた室地新理事長を迎え、6月より、新たなスタートをきりました。今号の特集では、古橋前理事長にゆかりのある方からのメッセージとともに、室地新理事長の就任のご挨拶をお届けします。



MESSAGE



地域とともに歩んだ道「チーム国分寺」を目指して

●牛田 純一
うしだ じゅんいち

(国分寺市社会福祉協議会 ボランティア活動センターこくぶんじセンター長)

私が初めて古橋さんにお会いしたのは、国分寺市社会福祉協議会(以下、「社協」という)の担当課長として異動してこられた時だったと思います。その後、国分寺市福祉保健部長などを歴任され、社協の理事としても、これまで数多くのご助言をいただきました。

定年を機に、社会福祉法人万葉の里へ移られてからは、当時の理事長である板山さんとともに、障害種別に関わらず、利用者一人ひとりの地域生活を支えるための中核的役割を果たしていく法人として、さまざまな事業を展開されました。

平成23年3月11日、東日本大震災発生時には、万葉の里とご縁があった宮城県仙台市の障害者施設の支援に入るため、社協と国分寺市内外の障害者施設や市の職員で「チーム国分寺」を組織し、1週間交代で1ヵ月以上にわたり、現地へ継続的に職員を派遣しました。これは、古橋さんが呼びかけて実現した取組でした。

また、令和元年11月には、古橋さんが初代表を務め、立ち上げ準備から関わってこられた「国分寺市社会福祉法人連絡会」が発足しま

した。古橋さんはいつも口癖のように、「福祉の現場は、人で成り立っている。現在もそうだが、将来福祉を担う人材が絶対不足する。市内の法人全体で人材の確保・養成を行わないとだめだ!」と、特に福祉人材の確保・養成に向けた取組に力を注いでこられました。その取組の一つが「国分寺市福祉のしごと相談・面接会」です。

連絡会の発足初年度は、コロナ禍で開催中止を余儀なくされましたが、翌年の令和3年2月14日、念願叶って、万全のコロナ対策のうえ、cocomi プラザリオンホールにて初めての開催が実現しました。参加法人は10法人、参加者は45名を数え、令和2年度中に三多摩地区で開催された相談・面接会では最多の参加者でした。しかし、その場に古橋さんの姿を見ることができませんでした。一緒に会を見届けるはずが、開催を前に突然の訃報に接し、言葉を失いました。いつも、地域の福祉全体をよくしていくことを考え、提案を寄せてくださった古橋さん。今度会う時にはひとこと文句を言うつもりです。今頃はきっと、向こうの世界で、釣竿を振り回しているに違いないと思います。 合掌

利用者さんから MESSAGE



古橋さんへ

障害者センターに来て、出会えてうれしかった。

腰が痛い心配してくれたり、さをりを見に来てくれたり、
みんなに声をかけてくれてありがとう。

今まで、私たちどーむのみんなを育ててくれてありがとう。

理事長がここにいてくれたから…

センターは理事長との思い出がたくさんある、大切な場所です。

理事長就任のごあいさつ

むろち たかひこ
★ 室地 隆彦

皆様、こんにちは。この度、万葉の里の理事長に就任しました室地隆彦です。今回この場をお借りし自己紹介をさせていただきます。

経歴 1953年(昭和28年)12月20日生まれの67歳。
学生時代は、学生運動が盛んで学校が閉鎖され、コロナ禍の今、学生の皆さんが置かれている状況と同じように、学校に通いたくても通えない日々が2年間続きました。

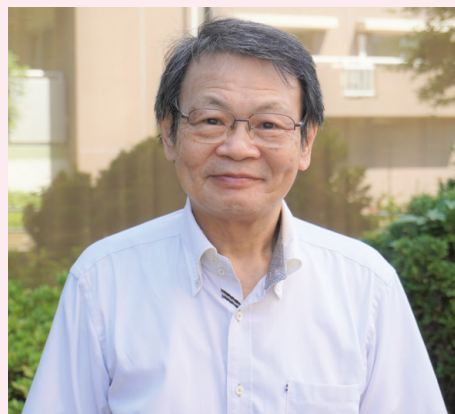
就職を迎えた頃は不景気でしたが、何とか練馬区役所に就職が決まり、以来38年、その後、練馬区社会福祉協議会に5年、通算43年間勤めました。公務員は、一般的に3年ほどで人事異動があるのですが、私の場合は、まちづくりに20年、福祉に10年、教育に8年と、同じ部門に長くいることが多く、少し変わった経歴を持っています。

趣味 旅行や溪流釣り、バスケットボール(Bリーグ)観戦などが大好きです。

最近はコロナ禍で出かけられませんが、年に1回は海外旅行に出かけ、これまで35カ国ほど周りました。釣り好きが高じて、川に上ってくるサーモンなどを狙いにアラスカやロシアまで出かけるようになってしまいました。

就任にあたって

当法人は、『ともに創る ともに生きる』を理念に、「利用者本位のサービスの実現」「専門性を生かした支援」「地域社会との連携と協働」を基本方針に掲げています。それを実現するためにはまず、法人で働く職員が生きいきと、そして誇りをもって働ける職場環境を整えていくことが大切です。それが、利用者本位のサービスや地域との連携・協働につながっていくと思います。このご縁に感謝し、古橋前理事長の思いを引き継ぎ、皆さんと一緒に国分寺市の福祉を支えていきたいと思っています。



一人ひとりの地域での 暮らし・活動の場 生活介護事業 太陽



障害の違いを越えて、ともに生きていきたい――

平成15年、国分寺市障害者センターが開所し、現在の生活介護事業太陽（以下『太陽』という）の基となる「身体障害者『アイサービ』センター太陽」「知的障害者通所更生施設アクトセンター・夢」が誕生しました。

さまざまな障害のある方々が、安心して生活を続けられることを目標にサービスを提供する中で、少しずつ利用者が増えていきました。その後、障害者自立支援法施行を受けて現在の『太陽』は始まりました。

障害・難病のある方どなたでも利用できる施設を目指している障害者センターですが、当時身体障害と知的障害のある方で「すみ分け」（この表現は本当はあまり好きではないです）していたところが一つの事業になることで、利用者の皆さんには大変な困惑と混乱があったことと思います。しかし、その変化の中で今まで出会う機会のなかった人との関わりが生まれ、時にはぶつかり合いながらもお互いへの理解が深まっていく様子は、私たち支援者が常々社会に向けて願っている共生社会の縮図であると感じています。

通所されている利用者は、一人ひとりが個性的で、毎日さまざまな表情を見せてくださいます。お仕事をしたい、身体をケアしたい、友達をつくり



回収した古本は一冊ずつ丁寧にクリーニングしてリサイクルしています！

たいなど、それぞれに思いを持って通所されています。特に皆さんからうかがうのが「役割を持ちたい」という願いです。役割は他者との関係の中に生まれます。社会の中で力を発揮して輝き、誰かの役に立ちたいという思いは、障害の有無を超えて共有できるものだ、皆さんの願いを聴く度に強く感じます。利用者と支援者としてだけではなく、社会に生きる一人の人間として、ともに生きていける喜びをこれからも大切にしていきたいと思っています。

（通所支援1課長 和田 朋子）

生活介護とは

「障害者総合支援法」の介護給付におけるサービスのひとつで入浴や排せつ、食事等の介護、創作活動、生産活動といった機会を提供し、その中で自立の促進や生活の改善、身体機能の維持向上等を図ることを目的としており、障害者の自立支援や社会参加も大きな目的です。

3月の力 8 障害や疾患などが外見から分からない方が、支援は配慮を必要としていることを周囲に知らせることができるもの。「ヘルプ○○○」（ヒント：6 ページ）

9 生活介護事業この里が障害者センターへ出張販売に行くのは毎週○○曜日です。（ヒント：8 ページ）

10 室地理事長が大好きな趣味である釣りに欠かせない、魚のエサに似せて作られた道具。「○○ー」



利用者さんの力を結集し
制作されたタイルアート

対象者：国分寺市在住の障害支援区分3以上(50歳以上の方は区分2以上)
で生活介護事業の支給決定を受けている方

対象年齢：18～65歳

開所日：月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始を除く)

開所時間：9時～16時

定員：38名(重症心身障害児(者) 通所事業10名含む)

活動内容：創作・音楽・革工芸・棒体操・散策・公園花壇水やり・古本クリーニング、理学療法、作業療法、言語療法など

陶芸、フェルト、組みひもなど、数ある利用者さんの創作品の中から、今回は革工芸作品をご紹介します。創作品は、障害者センターまつり等のイベントでも販売しています。



武蔵国分寺公園で行う花壇の水やりでは、公園を散歩する地域の方々が、「おはようございます」「頑張っているね!」と声をかけてくださり、地域との交流が生まれています。



指先の細かい動作を高めるリハビリテーションツールの一つ「ベグボード」では、円柱状のブロックを次々とつまみ箱に移動させていきます。

Let'sチャレンジ 2019

『太陽』は2階と3階に活動室があります。『他のグループの利用者さんと一緒に活動したい』という利用者さんの意見を受けて、別のグループの利用者さんと交流できるよう、2019年度より環境を整える取組を行っています。

他の利用者さんが活動している様子を見て、『私もその活動をしてみたい』と、今までやっていなかった活動に参加する方もいます。

お互いの活動を通して、仲間を思いやり、助け合う気持ちが広がっています。



理学療法士がコードを押さえ、映画『アルマゲドン』の主題歌を猛練習中です!

タビの力 1 万葉の里 KOCO・ジャムの2階に事務所がある、相談支援の中核的な役割を担う機関。今年設置10周年を迎えます。「OOO相談支援センター」

2 災害時等障害者支援バンダナは、市内OOヶ所で配布しています。(ヒント:6ページ)

日常 × 災害時

国分寺市では、日常から緊急・災害時まで障害のある方が支援を必要とするときに、周囲の配慮や手助けを求めやすくするための「ヘルプカード・ヘルプマーク」を配布しています。

今回は、新たに配布された「災害時等障害者支援バンダナ」について、市の担当者に経緯や活用法を伺いましたので、ご紹介します！



ヘルプカード・マーク

カードとマークはそれぞれコンパクトサイズで、普段使いに適しています。カードはお財布などに、マークはカバンにつけることで、日常のちょっと支援してほしい時や困った時に活用できます。カードの中には配慮や手助けが必要な情報を細かく記載できるため、具体的な支援を求めることができます。



災害時等障害者支援バンダナ

一目見てわかるよう、黄色地でサイズが大きく、必要な支援内容が目につきやすくなっているため、災害時や多くの人が影響を受けるような緊急時に適しています。避難所に向かう間や避難先で活用できます。普段からカバンに入れておくことで、急に電車が止まった時などにも活用できます。



※それぞれ QR コードを読み取ると、国分寺市役所のウェブサイトからも詳細をご確認いただけます。

障害福祉課の担当者に聞きました！

>>> それぞれのシーンに合わせて効果的に活用できます!!



なぜ、災害時等障害者支援バンダナ（以下「バンダナ」という）を作成・配布することになったのですか？

近年の自然災害における避難所運営等の課題を踏まえ、当市で検討を行い、災害時に障害のある方が安全に避難し、避難所でも必要な援助や配慮を受けやすくなるよう、周囲に支援を求めることができるバンダナを作成することになりました。

お渡しした方からは好評をいただいています。自由記載欄を設けたことも、評価していただいております。



他の市区町村でも作成・配布していますが、国分寺市独自の特徴や工夫はありますか？

関係団体の御協力を得て当事者からもご意見をいただいて作成しました。オリジナルで工夫した部分は2つあります。自由記載欄を設け、支援してほしい内容を事前に記入できるようにしました。また、夜間でも人がいることがわかりやすくなるよう、光が当たると反射する反射材を付けています。このバンダナが、障害のある方やご家族の方の安全・安心につながれば幸いです。



- 障害福祉課窓口 (市役所第2庁舎1階 TEL 042-325-0111 (内521) FAX 042-324-6831)
- 地域活動支援センターつばさ (泉町2-3-8障害者センター内 TEL 042-321-1136 FAX 042-321-1207)
- 地域活動支援センター虹 (戸倉4-14福祉センター内 TEL 042-324-7475 FAX 042-324-7476)
- 地域生活支援センタープラッツ (南町3-4-4 TEL 042-359-2440 FAX 042-328-3240)

市内4ヶ所で配布しています！

☆市内17ヶ所ある地区防災センターへも配備されており、避難時に受け取ることもできます。

ういず

職員リレー紹介



かめやま ゆづこ
龜山 悠津子

通所支援1課 生活介護事業 太陽
勤務年数：12年
好きな言葉：思いやり
趣味：音楽を聴くこと、韓国語を勉強すること

障がい者支援に携わり、私が大事にしていることは、人と人とのつながりや関係性です。

この仕事に就くきっかけは、自身の経験から人として互いに違いを認め合い、分かち合う関係性をつくることの大切さを感じたからです。利用者さんの思いを日頃から丁寧に汲みとれるよう、向き合う姿勢を大事にしています。ご家族と連絡帳などの紙面でのやりとりだけでなく、電話や面談などの対面によるやりとりを大事にし、じっくり話を聞き、誠実に対応することを心がけ、関係づくりに努めています。利用者さんが地域でその人らしく、その人が望む暮らしができるよう、その一助となれたらと思っています。

また、利用者さんやご家族に、「障害者センターに通ってよかった」、「障害者センターが楽しい」と思ってもらえるよう、そして、一つひとつ丁寧に業務に携わっていくことで信頼されるよう、関係性を築いていきたいと思っています。



ぶとうしんや
次回は武藤 真也さんの紹介です



かもした まさみ
鴨下 雅己

通所支援3課 生活介護事業 この里
勤務年数：10年
好きな言葉：爪は短く、気は長く
趣味：ディズニールゾートへ行くこと

この仕事の醍醐味は『人との出会い』だと思います。利用者の方やご家族、関係機関の皆さん、そして一緒に働く仲間たち。これまでに数えきれないほどの素晴らしい出会いがあったからこそ、今の自分があると思います。これからもたくさんのお出会いがあると思うとワクワクしますし、働く上での大きな励みとなっています。

私の所属するこの里は、「働く」ことを通して、利用者さんが自分らしい生活を創っていくことを目指しています。報酬を得ることの喜び、仕事をして得られるのは報酬だけでなく、達成感、やりがい、仲間との絆、地域の方々との出会い。利用者の皆さんには、働くことの楽しさを実感して経験を重ねていただきたいと思っています。

そして、一緒に働く信頼する仲間と共に、この里を利用する皆さんが、自分らしく生きいきと活躍できるような活動を考え、環境を整えていきたいと思っています。気負い過ぎず、笑顔で楽しく働き続けていきたいです!!



ならおかこうへい
次回は奈良岡 浩平さんの紹介です



てらもと のぞみ
寺元 希

地域支援2課 居宅介護事業所 ウイング
勤務年数：9年
好きな言葉：自分を信じる
趣味：韓国語の勉強

出産などで離れていた時期がありましたが、長い年月を万葉の里のみなさんと過ごしています。20代だった私も、もうすっかりいい大人になりました。

初めて障害者センターを見学したときのことをよく覚えています。ちょうど音楽の時間でした。曲に合わせて歌う人、全力で走る人、四肢をふんでいる人、それぞれに笑顔で楽しんでいる姿がありました。その雰囲気から「私もここでみんなと過ごしたい!」と思いました。

私はいつも皆さんの自分らしさを大切にしています。一つの曲でいろいろな楽しみ方があるように、一人ひとりにこうなりたいという思いや考えがあります。たくさんコミュニケーションをとることで、その人の好きなことやこれまでの生き方を知り、その人らしさが見えてきます。それをどのように支援につなげていけるか日々考えています。

皆さんが笑って、安心した生活を送れるよう、寄り添っていききたいと思っています。



しみずともこ
次回は清水 智子さんの紹介です

生活介護事業 この里 オススメ情報

私たちこの里は、「働く」ことを通じて自分らしい生活を創っていくことを目指しています。「生きがい」や「やりがい」を感じながら、自分の可能性を広げ、力が発揮できるよう、仲間と共に毎日楽しく活動しています。

週2回、北町の清水農園さんから新鮮な野菜を仕入れ、販売しています。

その他にも、ドーナツ(プレーン・チョコ・キャラメル)、生ラーメン、お米(あきたこまち)、梅干し(小田原産)を仕入れて販売しています。

オリジナルミサンガは、利用者さんが一つひとつ手編みして作っているハンドメイド商品です。販売を通じて、地域の方々とつながりや交流を持つことを楽しみにしています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください!!



清水農園 秋のおすすめ野菜 & 食べ方

これから寒くなる季節は、里芋をたくさん入れた「**けんちん汁**」がおすすめです!
ホクホクの里いもで体の中から温まりましょう!



利用者の声

野菜は毎週火曜日と木曜日に私たちが直接仕入れに行っています。
清水農園さんの野菜はおいしくてとても新鮮! 自信を持っておすすめします!



この里販売所

◎ KOCO・ジャム駐車場内

平日午前10時～午後3時
住所: 国分寺市東戸倉 2-7-26



◎出張販売

毎週木曜日午前11時～午後1時30分
場所: 障害者センターコミュニティ広場
住所: 国分寺市泉町 2-3-8



※新型コロナウイルス感染の状況により、中止になる場合があります。

クロスワードを解いて、素敵なプレゼントをゲットしよう!

各ページ下段にある設問(ヨコのカギ、タテのカギ)の答えをマスにうめて下さい。

【プレゼントの応募方法】

2ヶ所設置する「プレゼント商品引き換え窓口」にて、本紙をご提示の上、クロスワードの答えを口頭でお伝えください。正解者の中からそれぞれ、先着5名様に、下記の商品をプレゼントします。

引き換え窓口①: スイーツいずみ(国分寺市泉町 3-10-1)

就労継続支援B型事業所どーむ利用者おすすめ
「スイーツいずみ洋菓子セット」

営業時間: ㊤ 午前10時30分～正午、㊤㊤㊤ 午前10時30分～午後3時

引き換え窓口②: この里販売所(KOCO・ジャム駐車場内)

「人気商品詰め合わせセット」営業時間: ㊤～㊤ 午前10時～午後3時

【応募にあたっての注意事項】

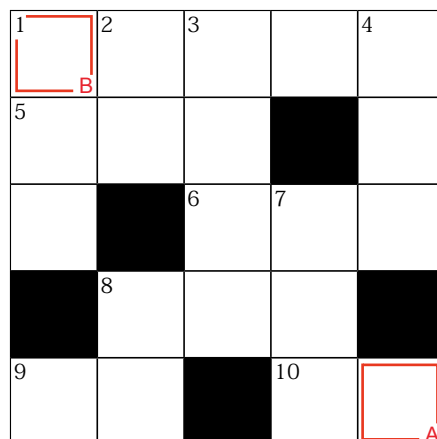
- ・土日祝はお休みとなります。上記、営業時間内にお越しください。
- ・引き換え窓口によってプレゼント商品が異なります。また、先着順のため、予定数量を終了している場合がございます。ご了承ください。

応募・引き換え期間: 令和3年10月4日(月)～10月29日(金)まで



答え A B

(ヒント: 10月と言えば食欲の〇〇ですね!)



編集後記

古橋前理事長との別れの日から早8ヵ月…この間に東京五輪や新型コロナウイルスのワクチン接種が行われ、春から夏、秋へと、過ぎゆく時間の速さに驚かされます。今号では、読者の皆さんも参加できる企画として、初めてクロスワードを掲載しています。ようやく暑さもやわらぎ、秋本番ですね。本誌を話題にしながら、学びの季節にぜひ、身近な方と一緒にチャレンジしてみてくださいね。(広報委員会)